2．生乳の地域別の需要の長期見通し

生乳の地域別の需要の長期見通しについては、飲用向け需要量は、地域ごとの人口の予測等を見込んで設定する。また、乳製品向け需要量は、国産ナチュラルチーズ等の需要の増加を見込んで設定する。

⑴　飲用向け需要量（地域別全国計）　　359万トン

（単位：万トン）

地域名	地域に属する都道府県名	現状（25年度）	見通し（37年度）
北海道	北海道	16.9	14.7～ 15.5
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	28.3	23.7～ 24.9
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	153.8	138.5～145.7
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	16.7	14.3～ 14.9
東海	岐阜県、愛知県、三重県	35.3	31.8～ 33.4
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	64.8	57.2～ 60.0
中国四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	35.4	30.3～ 31.7
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	45.2	39.4～ 41.5
全国計		396	359

⑵　乳製品向け需要量（全国計）　　385万トン

⑶　自家消費等需要量（全国計）　　6万トン

⑷　需要量計　　750万トン

3．生乳の地域別の生産数量の目標

生乳の地域別の生産数量の目標については、近年の酪農経営の動向、自給飼料基盤の地域差、乳牛の能力向上等を考慮して設定する。

（単位：万トン）

地域名	地域に属する都道府県名	現状（25年度）	目標（37年度）
北海道	北海道	384.9	380.0～420.0
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	59.8	55.0～ 60.8
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	129.1	119.1～131.6
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	9.8	9.0～ 9.9
東海	岐阜県、愛知県、三重県	29.6	27.3～ 30.1
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	19.3	17.6～ 19.5
中国四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	43.1	39.7～ 43.9
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	69.2	64.3～ 71.1
全国計		745	750

4．牛肉の生産数量の目標

牛肉の生産数量の目標については、牛肉の需要は減少すると見込まれるものの、肉用牛経営の収益性の向上を通じた生産基盤の強化や、消費者ニーズの多様化に対応した特色ある牛肉生産の推進等により、可能な限り国産牛肉の生産を維持していくとの考えの下に設定する。

牛肉生産量（全国計）　　52万トン（枝肉換算）

5．乳牛及び肉用牛の地域別の飼養頭数の目標

乳牛の地域別の飼養頭数の目標については、酪農経営の地域的動向、自給飼料基盤の地域差、乳牛の生産性の向上等を考慮して設定する。

肉用牛の地域別の飼養頭数の目標については、肉用牛経営の地域的動向、自給飼料基盤の地域差、肉用牛の生産性の向上、乳牛の飼養頭数の目標等を考慮して設定する。

（単位：万頭）

地域名	地域に属する都道府県名	乳牛		肉用牛	
		現状（25年度）	目標（37年度）	現状（25年度）	目標（37年度）
北海道	北海道	79.5	74.3～82.1	51.0	46.0～ 50.8
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	11.0	9.5～10.5	34.7	32.7～ 36.1
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	20.9	18.2～20.1	30.4	27.7～ 30.6
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	1.5	1.3～ 1.5	2.7	2.5～ 2.7
東海	岐阜県、愛知県、三重県	4.2	3.7～ 4.1	11.7	10.7～ 11.8
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	3.0	2.6～ 2.9	8.3	7.8～ 8.7
中国四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	7.1	6.2～ 6.8	18.6	17.0～ 18.7
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	12.3	10.7～11.8	99.3	94.7～104.7
全国計		140	133	257	252